

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」徳島八万校			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 18日 ～ 2025年 12月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18世帯(24名)	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	2025年 12月 6日 ～ 2025年 12月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員だけではなく、利用されるお子さまや保護者様も含めて事業所全体の雰囲気良さ。	・支援の話だけではなく、保護者様とも様々な内容のお話をする事で、信頼関係を築く事ができるよう心がけています。 ・毎支援「楽しかった」と感じて帰って頂けるよう、お子さま一人ひとりに沿った活動内容を提供しております。	・職員間での共有を徹底する事で、保護者様からの信頼度向上を目指します。
2	・個別療育と集団療育の組み合わせ	・個別療育が基本ですが、お子さまの課題によっては小集団療育も組み合わせながら支援させて頂いています。 ・同年代、対大人、兄弟間など、お子さまの状況に合わせて実施しております。 ・関わりを持ってほしいお子さまには事前に保護者の方に説明し、利用日時を合わせて一緒に活動できるようにする事もあります。	・職員間でお子さまの様子等を共有し、今後も全職員が対応できるようにしていきます。
3	・まずは職員が楽しむ	・どのような活動に対しても、まずは職員が楽しむ事でお子さまの「やってみたい」意欲を引き出すようにしています。	・お子さまと一緒に新しいゲームを生み出すなど、達成感や積極性、自己肯定感を育む事ができる環境を維持していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の人数が少ない分、個別対応が難しい時がある。	・配置は満たしていますが、職員数が少ないのが原因だと考えます。	・一人ひとりの職員の対応スキルを向上させていきます。 ・どのお子さまにも対応できるよう、職員全体ですべてのお子さまに関わり続けます。 ・新年度に新入社員入社と育休職員が復帰予定です。職員の定着率向上に向けて環境を整えます。
2	・職員間での情報共有の頻度が少ない。	・その日の内に共有すべきことを忘れてしまう事があります。 ・お互いに忙しい姿を見ると、声を掛けるのを躊躇してしまう事があります。	・情報共有を行う時間を設定し、職員全体が間違いなく確認・把握できる体制を作ります。
3	・地域住民との関りが無い。	・地域の催し物に参加する機会がない。地域の行事予定等を把握していない。	・利用者様やご家族の方等から情報を集めたり、地域のコミュニティへ積極的に参加するなどして関わりを増やしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」徳島八万校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

24(世帯数18)

回収数

17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	6	0	0	・子供のスペースがもう少し広いと良い 子供と別に話せる部屋があればと思います。 ・ドッジボールなどもっと部屋が広ければと思う 時があります。	毎回の支援では難しいですが、小集団活動等では机や椅子などを片付けて広いスペースで活動できるようにいたします。 ・相談室を準備致しておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	5	0	0	退職は仕方ないですが、急に知らされるのは親子で悲しいです。子ども達に退職される方からのお手紙などあれば、気持ちの切り替えもしやすいかと思っています。	ご迷惑ご心配をおかけして大変申し訳ございません。事前にお知らせできる職員に関しては本人からご挨拶させて頂く事もございますが、該事情によりご希望に沿う事ができない場合もございます。何卒ご理解頂けますと幸いです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	3	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	4	7		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	1	2	・定期的にあれば、ぜひ参加したいです。 ・(先生によっても違いますか)以前は「学校どうですか？」など色々と聞いてくださってこちらも話しやすかったです。また聞いていただけたらと思います。	・ご家族皆様でご参加頂けるような内容を、今後検討いたします。 ・対応が不十分で大変申し訳ございません。こちらからお声掛けさせて頂きますので、いつでもお気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	1	0	0	月一回など、定期的に親が子供と別に話す時間を設けて欲しい。	現在八万校では月1での相談会は実施しておりませんが、ご希望を頂いた方に関しましては都度ご相談頂ける場を設けて頂いておりますので、お気軽にお声掛けください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	2	6	保護者同士での交流の機会は特にはないです。強制ではないのですが、挨拶をしても返して下さらない方もいらっしゃいます。	現在八万校では、保護者様の交流イベントは行っておりませんが、支援の見学等で交流を持たれている保護者様もいらっしゃいます。今後は保護者様同士が情報共有できる場などを検討いたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	とても親身に話を聞いて下さり感謝しています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。 大切なお子様を安心してお預け頂けますよう、今後も職員一同精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」徳島八万校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時時間帯にご利用者が集中する事もありますが、活動内容など職員間で話し合いながらスペースを確保するよう努めております。	教材や机の配置など、ご利用様が安全に過ごせるよう再検討いたします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		職員の人員配置は基準を満たしています。ご利用様が集中する夕方は、コミュニケーション能力向上が必要なお子様対象に、小集団活動など少ない職員で対応させて頂いております。	今後、新しい職員の入社も予定されております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で振り返りをしたり、事務作業の効率化などを必要に応じて見直しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		地域との直接的な関りはまだありませんが、お出掛けや校舎近くのお店の方にご協力をお願いするなどの交流はございます。	今後は地域の催し物などにも参加するなど、検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		集団ではございませんが、該当するご利用者様に個別にお声掛けさせて頂いております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在八万校では、保護者様の交流イベントは行っておりませんが、支援のご見学等で交流を持たれている保護者様もいらっしゃいます。今後は保護者様同士が情報共有できる場なども考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		夏まつりや無料相談会など、地域の方との交流のきっかけを検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		クッキングイベントなど、アレルギーのあるお子様には使用する材料の成分等を保護者の方にお伝えし、ご判断頂いております。また、アレルギーのお子様でも食べられるメニューを考案するなど、同じものを食べられるような工夫もしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			